著者小傳

直木三十五

青空文庫

私の略歴

本名――植村宗一
年齢――三十五、卯の一白
生地――大阪市南内安堂寺町
父　――惣八、八十一才
母　――靜、六十九才
族籍――平民
弟　――清二、松山高等學校教授
妻　――須磨子、四十七才
長男――昂生
長女――木の實
身長――五尺五寸六七分
體重――十二貫百位

筆名の由來――植村の植を二分して直木、この時、三十一才なりし故、直木三十一と稱す。この名にて書きたるもの、文壇時評一篇のみ。

翌年、直木三十二。この時月評を二篇書く。

震災にて、大阪へ戻り、プラトン社に入り「苦樂」の編輯に當る。

三十三に成長して三誌に大衆物を書く。

三十四を拔き、三十五と成り、故マキノ省三と共に、キネマ界に入り「聯合映畫藝術家協會」を組織し、澤田正二郎、市川猿之助等の映畫をとり、儲けたり、損をしたりし――後、月形龍之介と、マキノ智子との戀愛事件に關係し、マキノと、袂を分つ。

キネマ界の愚劣さに愛想をつかし、上京して、文學專心となる。

習癖――無帽、無マント、和服のみ。机によりては書けず、臥て書く習慣あり。夜半一二時頃より、朝八九時まで書き、讀み、午後二三時頃起床する日多し。

速筆にて、一時間五枚乃至十枚を書き得。最速レコード、十六枚（踊子行狀記の最終二十四は、この速度にて書く）

酒は嗜まず。野菜物を好む。煙草は、マイミクスチユアか、スリーキヤツスルのマグナムに限る。但し、金がないとバツトにても結構。

飛行機好きにて、旅客中、最多回數を搭乘し、レコード保持者たり。

パノール號ロードスターを自家用自動車として所有す。中古千五百圓なりし品にて、菊池寛氏と共有の物なり。同氏と、文藝春秋社と、三者にて使用し、月經費を三分しつゝあり、圓タクよりあし。

趣味――圍碁二段に二三目。將棋八段に二枚落。麻雀無段。カツフエ、待合、旅行、競馬嫌ひなもの無し。

資産　自動車半臺分。刀劍少々。

直木三十五

青空文庫情報

底本：「直木三十五全集　第21巻」示人社
　1991（平成3）年7月6日発行
底本の親本：「直木三十五全集　第21巻」改造社
　1935（昭和10）年12月18日発行
初出：「現代大衆文學全集　續八巻」平凡社
　1931（昭和6）年3月発行
入力：門田裕志
校正：土屋隆
2004年12月4日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

著者小傳

直木三十五

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/